

2月7日(火) ▶ 2月10日(金)

第22回 沖縄県国頭村児童交流 ・ 国頭村児童交流団 岩美町を訪問・

（国頭村児童交流団 岩美町を訪問）



岩美町と国頭村は、昭和60年の「鳥取わかとり国体」、昭和62年の「沖縄海邦国体」で、双方が重量挙げの競技会場となつたことをきっかけとして、昭和62年2月（昭和61年度）より交流を始めました。

この交流では、お互いに沖縄と鳥取を訪問し、子ども達の交流を深めるとともに、異なる気候風土や食文化・くらし・伝統を学び、知見を広めることにより、次の時代を担う子どもたちの育成を図っています。

今回は、2月7日（火）から10日（金）までの4日間、国頭村児童交流団22名が来町しました。

国頭村の子ども達は、10月に沖縄を訪問した本町の児童との再会を喜び合い、岩美南小学校での交流会、万場スキー場でのスキー交流など様々な事業を通して鳥取の文化、習慣などを肌で体験しました。

第58回文化財防火デー

（本光寺で消火訓練）

1月26日（木）第58回文化財防火デーのこの日、恩志の本光寺で岩美消防署による消火訓練が行われました。

「文化財防火デー」は、昭和24年1月26日に法隆寺の金堂の壁画が火災により焼損したことなどから文化財保護法が制定されたのを契機に、昭和30年から全国的に実施されるようになりました。

当時は、本光寺で火災が発生した想定で、岩美消防署員が消火活動を行い、近隣の住民、岩美町消防団等も参加し、神社、仏閣等の貴重な文化財を保護するための訓練、啓発活動を行いました。



2月12日(日)

第7回 吉田杯卓球選手権大会

（2月12日(日)「第7回吉田杯卓球選手権大会」）

が岩美町民体育館で行われました。

この卓球大会は「岩美郡卓球選手権大会」として

1月26日(木)